

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 トヨタ紡織株式会社  
 コード番号 3116 URL <http://www.toyota-boshoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月11日

(氏名) 豊田 周平  
 (氏名) 伊藤 嘉徳  
 配当支払開始予定日

TEL (0566)26-0313

平成20年11月26日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	590,515	—	23,923	—	26,251	—	15,950	—
20年3月期第2四半期	581,763	18.0	29,246	56.9	30,025	46.6	19,421	61.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	85.45	85.40
20年3月期第2四半期	103.77	103.69

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第2四半期	508,825	—	235,071	—	38.6	—	1,054.56	—
20年3月期	527,622	—	226,880	—	35.3	—	997.43	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 196,487百万円 20年3月期 186,356百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
21年3月期	—	15.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,120,000	△9.2	40,000	△39.0	42,000	△36.1	25,000	△38.6	134.05

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	187,665,738株	20年3月期	187,665,738株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	1,344,505株	20年3月期	828,751株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第2四半期	186,670,625株	20年3月期第2四半期	187,154,562株

## ※ 業績予想修正の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済情勢、事業運営や為替変動等内外の状況変化により、実際の業績は記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（6ヶ月）の連結業績につきましては、売上高は、増産効果などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ87億円（1.5%）増加の5,905億円となり、製品別には次のようになりました。

シート、トリムなどの内装品につきましては、増産効果などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ58億円（1.1%）増加の5,263億円となりました。

フィルター・パワートレイン部品につきましては、前年同四半期連結累計期間に比べ7億円（1.9%）増加の417億円となりました。

繊維・外装品他につきましては、前年同四半期連結累計期間に比べ21億円（10.3%）増加の224億円となりました。

経常利益につきましては、増産増収の影響、合理化など増益要因はありましたが、製品価格変動の影響、市況値上げ、労務費の増加などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ37億円（△12.6%）減少の262億円となりました。

また、四半期純利益につきましては、前年同四半期連結累計期間に比べ34億円（△17.9%）減少の159億円となりました。

（注）前年同四半期との増減値および増減率は参考値として記載しております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、設備投資の実施などによる固定資産の増加などはありましたが、売上債権の減少、手元流動性の減少などにより、前連結会計年度末に比べ187億円減少の5,088億円となりました。

一方、負債は、前連結会計年度末に比べ269億円減少し2,737億円となりました。主な要因は、買入債務の減少、短期借入金の返済などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ81億円増加し2,350億円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

自動車業界につきましては、エネルギー・原材料価格の動向、金融機関の破綻を背景にした金融資本市場の緊張・不安、為替の動向など不透明な部分の一層の拡大から、国内需要の低迷、欧米をはじめとする世界的な景気の減速・下ぶれリスクが高まるなど、依然として予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような中で当社グループは、緊急収益確保と同時に前期に引き続き足元固めのための取組みと将来の発展のための先行施策の取組みを進めており、当期においても、先行開発投資や海外子会社の立ち上がり費用などを見込んでおります。

通期の業績予想につきましては、為替レート1US\$=100円の想定のもと、売上高1兆1,200億円、営業利益400億円、経常利益420億円、当期純利益250億円を見込んでおり、平成20年9月26日の公表値から変更しておりません。

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済情勢、事業運営や為替変動等内外の状況変化により、実際の業績は記載の予想数値と異なる可能性があります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した、将来の業績予測やタックス・プランニングを利用して判断しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。なお、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、損益に与える影響は軽微であります。なお、セグメント情報に与える影響は軽微であります。

3. 第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、損益に与える影響は軽微であります。また、期首の利益剰余金から564百万円を減算したことに伴い、利益剰余金が同額減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	65,354	70,421
受取手形及び売掛金	147,070	163,639
有価証券	17,890	22,883
商品及び製品	4,828	5,129
仕掛品	8,845	7,027
原材料及び貯蔵品	17,760	17,023
その他	27,239	30,155
貸倒引当金	△699	△598
流動資産合計	288,291	315,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,948	63,330
機械装置及び運搬具（純額）	71,528	68,769
その他（純額）	51,530	43,772
有形固定資産合計	186,007	175,872
無形固定資産		
のれん	2,572	2,702
その他	1,340	4,614
無形固定資産合計	3,912	7,316
投資その他の資産		
投資有価証券	8,591	9,025
その他	22,183	19,887
貸倒引当金	△161	△163
投資その他の資産合計	30,613	28,749
固定資産合計	220,533	211,938
資産合計	508,825	527,622

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成20年9月30日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	148,384	164,685
短期借入金	12,476	18,726
1年内返済予定の長期借入金	215	162
未払法人税等	4,861	6,796
製品保証引当金	1,950	2,143
役員賞与引当金	181	293
その他	44,084	46,331
流動負債合計	212,154	239,138
固定負債		
長期借入金	36,793	37,020
退職給付引当金	20,937	20,037
役員退職慰労引当金	542	807
その他	3,325	3,737
固定負債合計	61,599	61,603
負債合計	273,753	300,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,123	9,125
利益剰余金	186,422	174,772
自己株式	△3,056	△1,880
株主資本合計	200,888	190,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,098	1,254
繰延ヘッジ損益	△36	13
為替換算調整勘定	△5,463	△5,330
評価・換算差額等合計	△4,401	△4,061
新株予約権	269	155
少数株主持分	38,314	40,368
純資産合計	235,071	226,880
負債純資産合計	508,825	527,622

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

売上高	590,515
売上原価	541,625
売上総利益	48,890
販売費及び一般管理費	
給料及び賞与	9,233
その他	15,733
販売費及び一般管理費合計	24,966
営業利益	23,923
営業外収益	
受取利息	1,094
持分法による投資利益	1,024
その他	2,680
営業外収益合計	4,798
営業外費用	
支払利息	927
その他	1,542
営業外費用合計	2,470
経常利益	26,251
税金等調整前四半期純利益	26,251
法人税、住民税及び事業税	7,246
法人税等調整額	△2,122
法人税等合計	5,124
少数株主利益	5,177
四半期純利益	15,950

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当社グループは、自動車部品の製造、販売を主な事業としております。全セグメントの売上高の合計金額および営業利益の合計金額に占める自動車部品の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

区分	日本 (百万円)	北中南米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	348,712	99,079	110,480	32,243	590,515	—	590,515
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	18,576	37	4,885	806	24,305	△24,305	—
計	367,288	99,116	115,366	33,049	614,821	△24,305	590,515
営業利益	2,720	186	18,207	1,749	22,864	1,059	23,923

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域

北中南米…アメリカ、カナダ、メキシコ、アルゼンチン

ア ジ ア…中国、タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシア、インド

そ の 他…オーストラリア、ベルギー、トルコ、南アフリカ

**【海外売上高】**

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

区分	北中南米	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	100,445	107,810	33,414	241,669
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	590,515
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	17.0	18.3	5.7	40.9

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域

北中南米…アメリカ、カナダ、メキシコ、アルゼンチン

ア ジ ア…中国、タイ

そ の 他…オーストラリア、ベルギー、トルコ、南アフリカ

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額
I 売上高	581,763
II 売上原価	532,716
売上総利益	49,047
III 販売費及び一般管理費	19,800
営業利益	29,246
IV 営業外収益	3,999
1 受取利息及び配当金	1,022
2 その他の営業外収益	2,977
V 営業外費用	3,220
1 支払利息	914
2 その他の営業外費用	2,306
経常利益	30,025
VI 特別利益	1,613
1 中国子会社の過年度仕入 修正益	1,613
税金等調整前中間純利益	31,638
法人税、住民税及び事業税	8,665
法人税等調整額	△1,893
少数株主利益	5,444
中間純利益	19,421

(2) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

当社グループは、自動車部品の製造、販売を主な事業としております。全セグメントの売上高の合計金額および営業利益の合計金額に占める自動車部品の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

区分	日本 (百万円)	北中南米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消 去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	332,712	118,555	95,769	34,725	581,763	—	581,763
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	13,981	9	4,342	9	18,343	△18,343	—
計	346,693	118,565	100,112	34,734	600,106	△18,343	581,763
営業費用	338,349	112,930	88,115	32,189	571,584	△19,066	552,517
営業利益	8,344	5,635	11,996	2,545	28,522	723	29,246

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域

北中南米…アメリカ、カナダ、メキシコ、アルゼンチン

ア ジ ア…中国、タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシア、インド

そ の 他…オーストラリア、ベルギー、トルコ、南アフリカ

【海外売上高】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

区分	北中南米	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	120,406	93,757	34,779	248,942
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	581,763
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	20.7	16.1	6.0	42.8

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域

北中南米…アメリカ、カナダ、メキシコ、アルゼンチン

ア ジ ア…中国、タイ

そ の 他…オーストラリア、ベルギー、トルコ、南アフリカ

I. 連結決算の概要(累計)

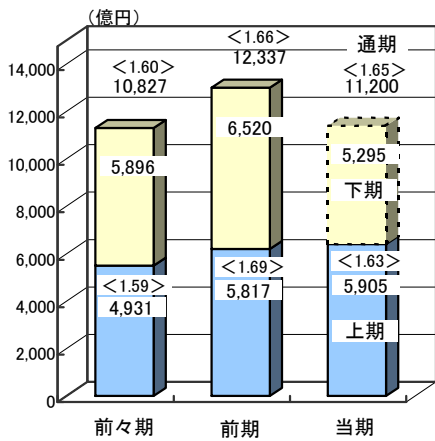
1. 当第2四半期の業績

(単位:億円, %, ( )は売上高比率)

	当第2四半期 (20.4.1~20.9.30)	前年同四半期 (19.4.1~19.9.30)	増 減	増減率	通期予想 (20.4.1~21.3.31)	対前期 増減率
売上高	( 100.0 ) 5,905	( 100.0 ) 5,817	87	1.5	( 100.0 ) 11,200	△ 9.2
営業利益	( 4.1 ) 239	( 5.0 ) 292	△ 53	△ 18.2	( 3.6 ) 400	△ 39.0
経常利益	( 4.4 ) 262	( 5.2 ) 300	△ 37	△ 12.6	( 3.8 ) 420	△ 36.1
特別損益	-	16	△ 16		-	
当期純利益	( 2.7 ) 159	( 3.3 ) 194	△ 34	△ 17.9	( 2.2 ) 250	△ 38.6
1株当たり当期純利益	85円45銭	103円77銭			134円05銭	
自己資本当期純利益率	* 16.6%	* 22.8%	*12ヵ月換算		12.9%	
1株当たり配当金	15円00銭	15円00銭			30円00銭	
配当性向(連結)	17.6%	14.5%			22.4%	
設備投資	266	194	71	36.9	710	34.1
減価償却費	154	150	4	2.7	360	9.3
連結子会社数	72社	70社	2社		74社	1社
持分法適用関連会社数	12社	14社	△2社		12社	0社

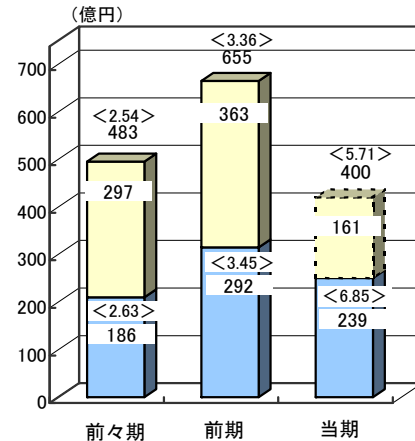
2. 売上高の推移

< >内は連単倍率(倍)



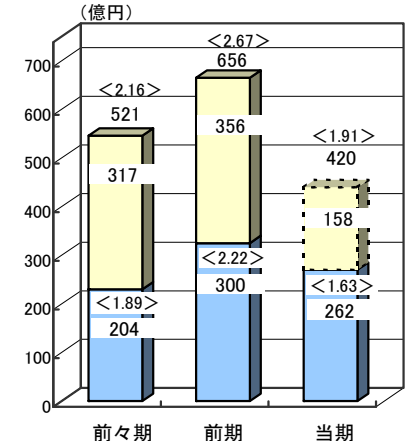
3. 営業利益の推移

< >内は連単倍率(倍)



4. 経常利益の推移

< >内は連単倍率(倍)



5. 売上高の内訳

(単位:億円, %, ( )は構成比率)

	当第2四半期 (20.4.1~20.9.30)	前年同四半期 (19.4.1~19.9.30)	増 減	増減率	通期予想 (20.4.1~21.3.31)	対前期 増減率
内装品	( 89.1 ) 5,263	( 89.5 ) 5,205	58	1.1	( 89.3 ) 10,000	△ 9.3
フィルター・パワートレイン部品	( 7.1 ) 417	( 7.0 ) 409	7	1.9	( 7.0 ) 780	△ 9.4
繊維・外装品他	( 3.8 ) 224	( 3.5 ) 203	21	10.3	( 3.7 ) 420	△ 7.2
合計	( 100.0 ) 5,905	( 100.0 ) 5,817	87	1.5	( 100.0 ) 11,200	△ 9.2

6. 経常利益の増減要因(対前年同四半期比較)

(単位:億円)

要因	金額	要因	金額
増	63	減	74
・増産増収の影響	63	・製品価格変動の影響	74
・合理化	68	・市況値上げ	11
益	16	・労務費の増加	33
・営業外収支の増加	16	・減価償却費の増加	10
計	147	・諸経費の増加	29
		・為替の影響	16
		・新規連結子会社立上げの影響	11
		計	184
差引経常利益の減少			△ 37

II. 単独決算の概要(累計)

(単位:億円, %, ( )は売上高比率)

	当第2四半期 (20.4.1~20.9.30)	前年同四半期 (19.4.1~19.9.30)	増 減	増減率	通期予想 (20.4.1~21.3.31)	対前期 増減率
売上高	( 100.0 ) 3,620	( 100.0 ) 3,445	174	5.1	( 100.0 ) 6,800	△ 8.7
営業利益	( 1.0 ) 34	( 2.5 ) 84	△ 49	△ 58.9	( 1.0 ) 70	△ 64.1
経常利益	( 4.4 ) 160	( 3.9 ) 135	25	19.0	( 3.2 ) 220	△ 10.6
特別損益	※ △ 6	-	△ 6		△ 6	
当期純利益	( 3.6 ) 129	( 3.0 ) 101	27	27.0	( 2.5 ) 170	△ 9.5

※ 特別損失:関係会社出資金評価損 6億円